

朝日大学歯学部生涯研修部 プログラム

朝日大学大学院歯学研究科連携プログラム

1 Clinical Skillup Seminar
クリニカルスキルアップセミナー

2 Clinical Step up
クリニカル・ステップアップ

Dentistry

クリニカルスキルアップセミナー講師

クリニカルスキルアップセミナー
(p5～p21をご参照ください)

クリニカル・ステップアップ講師



青井 良太
Ryota Aoi



木下 富貴
Tomitaka Kinoshita



玄 景華
Keika Gen



貞光 謙一郎
Kenichiro Sadamitsu



三條 直哉
Naoya Sanjoh



瀧野 裕行
Hirofumi Tashiro



田代 浩史
Hirofumi Tashiro



中本 哲自
Tetsuji Nakamoto



二階堂 徹
Toru Nikaïdo



宮地 栄介
Eisuke Miyaji



安田 順一
Junichi Yasuda



山田 國晶
Kuniaki Yamada



吉川 宏一
Koichi Yoshikawa

主な認定医制度

- ☐ 日本歯科医師会認定研修会
- ☐ 朝日大学大学院歯学研究科の単位認定コース

プログラム詳細

Clinical Skillup Seminar クリニカルスキルアップセミナー

CLINICAL
SKILLUP SEMINAR
28
COURSE

クリニカルスキルアップセミナー
(p5～p21をご参照ください)

Clinical Step up クリニカル・ステップアップ

CLINICAL
STEP UP
06
COURSE

【コース番号:12211301】 総合歯科医として学ぶべきもの

WEB配信

ー歯科デジタル化に向けてー

講師／貞光 謙一郎・瀧野 裕行・二階堂 徹・中本 哲自

【コース番号:12211401】 明日から役立つ訪問診療

会場参加

簡単にできる口腔ケアと摂食嚥下機能療法のノウハウ

講師／玄 景華・安田 順一

【コース番号:12211501】 ベーシックからのステップアップエント 2日間コース

会場参加

講師／山田 國晶

【コース番号:12211601】 結合組織移植(CTG)をマスターする

会場参加

ー根面被覆から歯槽堤増大術までー

講師／青井 良太・木下 富貴・三條 直哉・宮地 栄介

【コース番号:12211701】 コンポジットレジン修復の発想転換

会場参加

ーハンズオンコースー

講師／田代 浩史

【コース番号:12211801】

WEB配信

<義歯を極める>

患者が望む「リンゴが丸かじりできて、長く使える
義歯」とは？

ー包括治療の持続性を確立する究極のミリングデンチャーから
吸着総義歯、IOD(インプラント・オーバー・デンチャー)までー

講師／吉川 宏一

総合歯科医として学ぶべきもの

ー歯科デジタル化に向けてー

What you should learn as a general dentist

-Towards digitized dentistry-

WEB配信

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

【歯科医師】【コース番号:12211301】

概要

歯科のデジタル化は歯科医療のワークフローに対して大きな変革をもたらしています。CAD/CAM(computer-aided design/computer-aided manufacturing) テクノロジーの登場により補綴物の作製はロストワックス法から PC (personal computer) のソフト上でデザインをおこない切削器械で加工することが可能となりました。技工操作は効率化されると共に、新しい材料も生産、発売され日常の臨床で数多く利用されるようになり、今では一部保険収載されるようになってきました。

また、現在も歯科医療全般でデジタル化が急速に進化し、CBCT (cone-beam computed tomography) による診査・診断や補綴学分野では下顎運動機能装置や歯接触分析装置、保存学分野では光学スキャナーによる印象採得、審美領域では歯の色調の測色装置、インプラントではステントやスキャンボディーを用いた印象採得など様々な分野でデジタル化への移行が認められます。

しかしながら、移行期である現在、数々の問題点を含んでいることも周知の事実であると考えています。そこで今回は学術と臨床の立場から現在のデジタルソリューションを皆様とともに考えていきたいと思います。

プログラム

1. 「臨床的デジタルワークフローの立案」(講師: 貞光 謙一郎)
歯科医療のデジタル化は急速に進化しています。そこで私達臨床家は院内のワークフローを変革させなければならないと考えています。今回の講演では当院でのデジタルワークフローを解説いたします。
2. 「総合治療における歯周再生療法と歯周形成外科の有用性」(講師: 瀧野 裕行)
包括的な総合治療をおこなう上で歯周環境を整え清掃性、審美性を獲得するためには、歯周再生療法や歯周形成外科などの多くの治療オプションが必要であり、それら治療戦略について解説します。
3. 「デジタル歯科で役立つ接着の基礎と実践」(講師: 二階堂 徹)
歯科のデジタル化に伴って間接修復法のワークフローは革新的な変化を遂げています。本講演ではデジタル歯科に役立つ接着の基礎と実践に関する最新情報について解説します。
4. 「口腔インプラント治療におけるアナログとデジタルの融合」(講師: 中本 哲自)
現代の口腔インプラント治療はアナログ技術とデジタル技術の融合が欠かせません。しかし、従来法との区別ができていなければ、機械を「使う」のではなく「振り回される」ことになりかねません。講演ではデジタル技術をどのように使うのか、インプラント症例をもとに解説する予定です。

■定員: 200名

(明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます)

■日時: 2021年8月1日(日) 10:00~16:30

■形式: WEB配信

■受講料: 8,000円

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)



貞光 謙一郎

Kenichiro Sadamitsu

貞光歯科医院 院長
日本顎咬合学会 次期理事長
日本歯科審美学会 代議員
朝日大学 非常勤講師



瀧野 裕行

Hiroyuki Takino

タキノ歯科医院 院長
朝日大学歯学部 客員教授
東京医科歯科大学 非常勤講師
大阪大学 歯学部 非常勤講師
日本先進医療研修施設 (JIADS) 理事長
日本臨床歯周病学会 認定医
OJ (Osseointegration Study Club of Japan)
副会長
AAP (American Academy of Periodontology)
会員



二階堂 徹

Toru Nikaido

朝日大学歯学部口腔機能修復学講座
歯科保存学分野歯冠修復学 教授
日本歯科保存学会 理事・専門医・指導医
日本接着歯学会 理事・認定医
日本歯科理工学会
中部支部理事・シニアアドバイザー
学術誌Dental Materials Journal
副編集長
学術誌Journal of Adhesive Dentistry
副編集長



中本 哲自

Tetsuji Nakamoto

朝日大学歯学部口腔病態医療学講座
インプラント学分野 教授
日本補綴歯科学会 指導医・専門医
日本口腔インプラント学会 専門医

1 day
CLINICAL
STEP UP
06
COURSE



玄 景華

Keika Gen

朝日大学歯学部
口腔病態医療学講座
障害者歯科学分野 教授
日本障害者歯科学会 指導医
日本老年歯科医学会 指導医
日本歯科麻酔学会 認定医
日本摂食嚥下
リハビリテーション学会 認定士



安田 順一

Junichi Yasuda

朝日大学歯学部
口腔病態医療学講座
障害者歯科学分野 准教授
日本障害者歯科学会 指導医
日本老年歯科医学会 指導医
日本歯科麻酔学会 認定医

明日から役立つ訪問診療

簡単にできる口腔ケアと摂食嚥下機能療法のノウハウ

Be Useful to Home-visit Dental Treatment Immediately

- An Easy Introduction of Oral Care and Treatment for Eating/Swallowing Disorders -

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

会場参加

【歯科医師】【歯科衛生士】【コース番号:12211401】

概要

近年、本格的な超高齢化社会を迎え、厳しい社会保障制度改革の中で歯科医療も転換期にさしかかっています。介護保険が平成12年から導入されて21年が経過し、平成18年度からは介護予防としての口腔機能への取り組みも求められています。従来から歯科疾患に対する保存・補綴治療を始め、8020運動を中心とする予防歯科の流れの中で、第三の歯科医療としてさまざまな障害や、基礎疾患のある高齢者に対する口腔ケアを中心とした介護支援や摂食嚥下障害への歯科的支援などの対応が重要になってきています。また、平成30年度からは新病名「口腔機能低下症」が保険収載され、新たな取り組みが求められています。

上記の視点にたって、一般診療所での歯科診療の枠組みの中で、訪問診療及び摂食嚥下障害への取り組みを戦略的・戦術的にわかりやすく解説していくのが本コースのねらいであります。研修内容は、訪問診療の基礎的知識と実践及び摂食嚥下障害へのアプローチで、全く経験のない先生方でも訪問診療のイメージがしやすいように、具体的に講義していきます。

プログラム

1. 訪問診療の基礎的知識と実践

- ・考え方と診療の流れ
- ・安全面としての全身管理
- ・在宅での歯科治療（特に義歯関連）
- ・口腔ケアの基本と応用
- ・症例紹介（ビデオ供覧）

2. 摂食嚥下障害へのアプローチ

- ・摂食嚥下障害とは
- ・摂食嚥下障害の評価方法
- ・摂食嚥下障害への具体的な対応と訓練（VE 検査のデモ含む）
- ・歯科的補装具（PAP）の応用
- ・在宅・施設での実践
- ・症例紹介（ビデオ供覧）
- ・質疑応答

受講生の声

講演内容を障がい者歯科診療、介護保険の審査会の場で生かしていきたいと思います。

POINT!

- 初めて訪問診療を始めたいと考えておられる先生方や歯科衛生士の方に企画しました。
- 口腔ケアや摂食嚥下障害への取り組みもわかりやすく解説します。
- 現場での具体的な対応もビデオを供覧しながら、基本的なノウハウをマスターして、すぐに臨床に応用・導入できるようなコースです。
- 少人数コースのため、直接マンツーマンでの指導及び質問を受けることができます。
- これから訪問診療を検討している先生方や現在、訪問診療でお悩みの方に最適なコースです。

■定 員：20名

（明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます）

■日 時：2021年12月12日(日) 10:00~17:00

■会 場：岐阜・瑞穂市 朝日大学 1号館 3階 臨床系ゼミ室No.1

■受講料：歯 科 医 師 20,000円

歯科衛生士10,000円(単独受講可能)

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

ベーシックからのステップアップエンド 2日間コース

2Days Step-up Training Course for Treatment of Clinical Endodontic.

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

会場参加

【歯科医師】【コース番号:12211501】

概要

ベーシックの習得が完了したと感じているにもかかわらず今一つ症例につまづいたり、マイクロスコプ・CTを導入しているにもかかわらずミスを起こしてしまう場合があり、スムーズな臨床が遂行していないなど、悩む所です。本コースは、ステップアップが上手く行かない場合を想定した、ベーシックからのステップアップを目指した内容にて進行したいと考えております。



※1人1台マイクロスコプを使用していただけです。

プログラム

1. 根管処置を成功するポイント
2. ステップに効果のある器具、器材の紹介と使用テクニック
3. 根管内封鎖の必要性和封鎖法（デモと実習）
（BCシーラー & ウォームガッタパーチャ法とMTAパウダーによる封鎖）
4. 根尖端部の過剰拡大歯の対処法（デモと実習）
5. 不良再処置歯におけるトリートメントプランとガッタパーチャ除去
6. 穿通障害歯とは（その考え方と穿通法・処置法と弯曲型穿通障害歯トレーニング模型によるデモと実習）



■定員：10名

（明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます）

■日時：2日間

2021年9月19日(日) 10:00～18:00

2021年9月20日(月・祝) 10:00～16:00

■会場：愛知・知立市 知立研修センター

（愛知県知立市池端2-15 池端ビル2F）

■持ち物：筆記用具・白衣（もしくは実習に支障のない服装）

■受講料：165,000円

（会場レンタル費・器材レンタル費・模型代・昼食代などを含む）

（入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。）



山田 國晶

Kuniaki Yamada

かおり歯科医院 院長

日本歯内療法学会(JEA) 専門医・

指導医

C.E.R.I.研修会代表

S.J.C.D.エンドコース 特別講師

日本顕微鏡学会 専門医・指導医

日本口腔インプラント学会 認証医

日本顎咬合学会 指導医



青井 良太

Ryota Aoi

あおいデンタルクリニック・麻布十番
ペリオインプラントセンター 院長
SBC(Surgical Basic Course) 主幹



宮地 栄介

Eisuke Miyaji

宮地歯科医院 院長
SBC(Surgical Basic Course) 講師



木下 富貴

Tomitaka Kinoshita

きのした歯科クリニック 院長
日本大学松戸歯学部
有床義歯補綴学講座 非常勤医員
SBC(Surgical Basic Course) 講師



三條 直哉

Naoya Sanjoh

三條歯科医院 院長
SBC(Surgical Basic Course) 講師

結合組織移植(CTG)をマスターする

ー根面被覆から歯槽堤増大術までー

Surgical Training for Connective Tissue Graft

-Root Coverage and Ridge Augmentation-

会場参加

【歯科医師】【コース番号:12211601】

概要

近年、歯周病治療だけでなく審美修復やインプラント治療においても歯肉のマネージメントの重要性が注目されています。また、日々の臨床のなかで歯肉退縮や歯肉の厚みが薄い歯に対して、そのままレジン充填や補綴処置を施してきたことが多いと思います。しかし、歯肉退縮に対して行ったレジン充填が、さらに歯肉退縮を起こしているケースに遭遇したことは少なくないのではないのでしょうか。

本コースではこのような臨床で起こりうることを想定し、その予防や改善、清掃性の向上を目的とする結合組織移植術による根面被覆や歯肉増大によるバイオタイプの改善まで、豚顎を用いて手技をマスターしていただく実習中心のハンズオンコースです。

プログラム

講義(Lecture)

1. 歯周外科総論
2. 多種多様な移植テクニック
3. 術式の選択基準
4. 切開、縫合、外科器具の扱い方
(結合組織移植術、遊離歯肉移植術を中心に)

実習(Hands on)

少数歯、多数歯における根面被覆術・歯肉増大術等、時間の許す限りできるだけ多くの情報をお伝えします。



■定員：20名

(明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます)

■日時：2021年9月5日(日) 10:00~16:30

■会場：岐阜・瑞穂市 朝日大学1号館2階 臨床系第2実習室

■受講料：60,000円

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

コンポジットレジン修復の発想転換

ーハンズオンコースー

Paradigm Shift of Direct Composite Resin Restoration.

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究科連携プログラム

会場参加

【歯科医師】【コース番号:12211701】

概要

近年、コンポジットレジン修復関連の基礎研究や材料開発の努力によって、直接法によるコンポジットレジン修復の適応範囲は拡大しています。開発当初、コンポジットレジン修復の臨床応用範囲は小規模窩洞に限定され、その歯質接着性や修復材料としての物性には長期的な臨床経過に懐疑的な認識が一般的であったと記憶しています。しかしながら、継続した学術研究や臨床応用の蓄積により、ボンディング材の歯質への浸透・硬化による強固な接着能力の獲得と、コンポジットレジンの重合硬化後の強度・審美性の向上とが、臨床でのコンポジットレジン修復に関する認識を大きく変化させる状況となっています。

ボンディング材の歯質接着能力は既に臨床上で必要十分なレベルに到達し、新規ボンディング材に求められる方向性は、より使用環境に左右されにくいタイプへの機能性の追求や、短時間で確実な処理が可能なタイプへの改良へとシフトしています。また、フロアブルコンポジットレジンなど、様々な特徴を持ったダイレクトアプリケーションタイプのコンポジットレジンが次々に登場して臨床での操作性は著しく向上し、窩洞形態に合わせた確実な充填操作がより短時間で可能となりました。

これらの新しい方向性で開発されたコンポジットレジン修復関連材料の特徴を理解し、臨床適用における注意点を整理することは重要であり、本講演では様々な臨床状況で新規材料を活用したコンポジットレジン修復症例を紹介します。多くの症例にとって、コンポジットレジン修復を治療手段の最初の一手として採用し、口腔内環境の崩壊に向かうレストレーションサイクルを初期段階で停止させる取り組みは非常に重要であり、患者の理解・協力の下で我々歯科医師が「MI修復」の新しい方向性を模索していく必要があると考えます。

プログラム

講義 (Lecture)

1. コンポジットレジンによる接着修復の特性
8 PROPERTIES
2. コンポジットレジン修復の最新臨床術式 8 STEPS
3. コンポジットレジン修復の適応症拡大 8 CASES

保険診療症例

- ・白歯 1 級修復（齲蝕治療）
- ・白歯 2 級修復（齲蝕治療）
- ・破折歯への修復（前歯 4 級修復）

自費診療症例

- ・白歯 2 級修復（メタルフリー修復）
- ・離開歯列への修復
- ・ダイレクトベニア修復
- ・ダイレクトクラウン修復
- ・ダイレクトブリッジ修復

実習 (Hands on)

1. 臼歯部 2 級修復（メタルフリー修復）におけるマトリックスシステムの活用方法
2. 前歯部大規模コンポジットレジン修復におけるシリコーンガイド作製方法
3. ダイレクトクラウン修復における失活歯への歯冠形態再構築方法

■定員：15名

（明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます）

■日時：2021年11月21日(日) 10:00~16:30

■会場：岐阜・瑞穂市 朝日大学1号館2階 臨床系第2実習室

■受講料：60,000円

（入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。）



田代 浩史

Hirofumi Tashiro

田代歯科医院 院長

東京医科歯科大学

臨床教授（齲蝕制御学）

日本歯科保存学会 認定医

日本接着歯学会 認定医

DIRECT RESTORATION ACADEMY

OF COMPOSITE RESIN 主宰



吉川 宏一

Koichi Yoshikawa

医療法人吉川デンタルクリニック
院長

JIADSエンドコース・ペリオコース
常任講師

日本臨床歯周病学会
歯周病指導医・インプラント
指導医

日本顎咬合学会 指導医

日本審美歯科協会

前会長(2016~2018)

AAP会員

OJ (Implant Study Club) Active Member

日本歯内療法学会会員

ミリング義歯、吸着総義歯セミナー/
Hands-on 実習会専任講師

<義歯を極める>

患者が望む「リンゴが丸かじりできて、長く使える義歯」とは？

一包括治療の永続性を確立する究極のミリングデンチャーから、
吸着総義歯、IOD (インプラント・オーバー・デンチャー) まで一

<To Master Many Techniques of Dentures>

What Do You Think of Dentures Which Can Eat an Apple and Lasting a Long Time?

-Milling Denture, Attaching the Complete Denture, and Implant Overdenture etc.-

日本歯科
医師会認定

朝日大学大学院
歯学研究所連携プログラム

WEB配信

【歯科医師】【コース番号:12211801】

概 要

歯科大学卒業直後には、実はデンチャーが苦手で嫌いでした。もしそんな先生がおられたら、今は得意で大好きになった**義歯臨床の極意と勘所**を先生方にお伝えしたいと考えます。そして明日から「デンチャーは楽しい。」と義歯臨床を先生方と一緒に楽しみたいと思っています。

日本において9年前にすでに超高齢社会に突入し、**65才**以上の人口の割合が全人口の21%を越えました。令和時代はこれが加速度的に増え続け、65才以上が5年後の2025年には約30%、そして2060年にはなんと約**40%**に達するとみられています。

多くの高齢者のうち歯を失った高齢者の患者さんが、インプラント治療を全員受けられるわけではありません。だから歯を失った高齢者にとっては「**良質なデンチャーでどんなものでも、美味しく食べたい。**」これがこれからの高齢者時代の患者さんの切実な欲求です。

そんな状況をしっかり捉えて「**入れ歯で悩んでるんだったら、あそこの歯医者さん行けば間違いないよ。**」と患者さんに言って頂ける歯科医を目指す先生方に、是非聴いて頂きたい内容です。

何でも咬めるデンチャー技術が**臨床力を飛躍**させて、デンチャーの知識と技術を**包括歯科臨床**の中に活かし反映することができる。そして、**20年以上の永続性**を維持できる義歯で、患者さんからの揺るがない**信頼**を得て、医院の**自費率UP**を約束します。

プログラム

一良質な義歯が、患者の信頼と自費率UPにつながる一

<ミリング・デンチャー>

- ・キャストパーシャルの変遷 (RPI→コースス→ミリング)
- ・Milling Denture の構造と、機能性・快適性・審美性
- ・包括的義歯設計…支持・保持・維持 (鉤歯・連結)
- ・運動制御におけるヨーイング・ローリング・ピッチング
- ・被圧変化を考慮した歯牙負担と粘膜負担の調和
- ・20年以上使い続けていただけるパーシャルデンチャーの具備条件
- ・ミリング・デンチャーが包括治療の永続性に貢献できる

<フルデンチャー>

- ・指圧疼痛試験 (歯槽骨トポグラフィ触診)
- ・歯槽骨整形・上唇小帯切除
- ・フルデンチャーの吸着につながる維持力とは？
- ・唾液の表面張力による真空力維持と重要な内側面維持
- ・究極の選択圧印象
静的印象 Custom Tray & Impression Paste
動的印象 Clear Tray & Iso Compound
- ・筋肉走行と義歯維持
- ・咬合採得
Bite Plate と Mash Bite (咬合採得用シリコン印象材) による Centric Bite Gothic Arch Trace
- ・Bite test リンゴや堅焼きせんべい

■定 員：200名

(明海大学・朝日大学出身以外の方も受講できます)

■日 時：2021年8月29日(日) 10:00~16:00

■形 式：WEB配信

■受講料：8,000円

(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

MEMO

CLINICAL
SKILLUP SEMINAR
28
COURSE

CLINICAL
STEP UP
06
COURSE